

迷離世界

上官小威/画

一話完結のホラーコミック。台北で美人妻とぜいたくに暮らす男・培新は、かつて占い師に言われた運命が気に掛かっていた。「36歳の年に、究極の災厄が訪れる」…「批命」。不良少女コニーはゲームセンターの「バックマン」に夢中。ある日、ワル仲間のボーイフレンドに誘われ、盗んだ車でドライブに出かけると…!?「鬼食人」。晁薇は臨月を迎えた 22 歳。ある日、仕事を終えて地下鉄に乗っていると不思議な駅に到着した…「地鐵驚魂」等々。

★鑑賞ひとくちメモ★

「李小龙」上官小威の弟、小威。この作品で大ヒットを飛ばし、漢民「怪異集」とともに80年代中期の怪奇漫画ブームを巻き起こす。が、表紙こそおどろおどろしいものの漫画の内容にさほど怪奇色はなく、オカルト要素や幽霊話をスパイスに加えた短編愛憎劇集である。香港なので風水や中華の土俗風習や、いわゆる「鬼」話が織り込まれるが、それが中心ではなく、また「ほんとにあった怖い話」的なセミ・フィクションでもない。ストーリーもかなり凡庸。それでも香港っ子には大ウケしたようだ。

当初は黄玉郎の「玉郎機構」から出ていたが(小威曰く「すごクイヤだった」が兄貴に付いて玉郎傘下に入るしかなかった)、1984年に独立。当書欄外に『玉郎』版は買わずに、こちらを買ってね!と宣伝文が出ている。玉郎機構は小威に去られた後も刊行を続け、同じ「迷離世界」で玉郎版と小威出版社版が並び立っていた時代があったらしい。香港ではよくある話。



1色刷り B5 サイズ

1984 年(2019 年復刻)

復刻版元：小威出版社

靚妹

上官小威/作

地を這いずるような「女の生きざま」をドラマチックに描く一話完結ストーリーコミック。貧しい家庭に生まれた三姉妹の長女。父は早世し、母も妹も病気がち、おまけに母がヒモを連れ込んで家庭はますます困窮する。私が稼がなければ…選んだのはアイドルタレントの道だった。しかし成功をつかんだとき…!? / 15歳の女子中学生は「女だから」と両親に蔑まれ、過酷な家事を一手に押しつけられて学校の成績も下がりがち。「もう勉強はいや!」退学して工場に就職、賃金を得て独立を果たす少女。ところがある日、寮のルームメイトが…。

★鑑賞ひとくちメモ★

これは珍味。怪奇漫画で人気を得た上官小威が余勢をかって発表した異ジャンル作で、ツッパリ少女の諸相を描いた劇画。「不良」でも「ヤンキー」でもなく「ツッパリ」だ。当時の風俗にこもりで、多くの日本通俗文化がそのまま入ってきているのがわかる。ところがどうも、それを描くには古くさすぎて泥臭すぎる絵。逆になんともいえない味わいを醸し出している。兄の上官小寶に比べて決定的に劣る画力も、この泡沫のような世相漫画(なんたってレオタード姿!「フラッシュダンス」だ!ジャズダンス!)にはむしろ合っている。ここ数年の復刻出版の中でも比較的早期に出た一作。これを21世紀半ばの漫画読者に読ませようという動機が知りたい。



1色刷り
B5 サイズ

1984 年(2018 年復刻)

復刻版元：小威出版社